

18. 府中市最高峰

龍王山 (767.8m)

府中市／神石高原町



府中市上下町と神石郡神石高原町の境にあり、吉備高原の西端にある山。上下町はたたらや銀などの中継集積地、燃料供給地として栄え、平成の合併で府中市となる。

府中市 2017,4,1 推定

<面積>	195.75km ²
<人口>	38,943人
<人口密度>	199人/km ²

【山行日】 6月15日 (木) 天候：晴れ

【参加者】 2名

西田文雄 宮木一民

【コースタイム】

(同日の頭士山山行から続く) →広場着 12:00 (昼食) →切り開かれた入口 13:00
→ (道迷い) →龍王山頂 15:10 (写真撮影) →山稜会の案内板→切り開かれた入口 16:00
→広場発 16:15→甲奴IC⇒尾道IC⇒広島東IC 18:20

【報告】

上下町一田頭線を西方に向かうと、北側の山頂に鉄製のアンテナが乱立するなだらかな山が見えてくる。これが龍王山である。山頂へは、道路南側の府中消防署小塚出張所から約100m先に向くと、道路脇のブロック擁壁前に『竜王山入口』と書かれた案内板が出ている。これより舗装された道路を北方へ道なりに約3.4km進むと、やがて鉄の柵で囲われた白い局舎が見えてくる。ここの前を経て木製の展望台、東屋、四等三角点のある広場に到着する。

車を広場に止めて、局舎の約100m先まで戻り、東方に切り開かれたところに入る。ここより先は道もなく、一面に雑木が茂って見通しが悪い。地形も平坦であるため尾根の見分けが難しいが、正面の谷を越えてその先にある尾根に向い、この尾根に到達したら北方に約200メートル進むと三角点のある頂上に到達する。

山頂も一面なだらかで、見通しもなく、三角点が発見できないと、どこが山頂か判断でき

にくいところである。

当初から道迷いをしてしまい多くの時間を要した。龍王山のように、複雑な地形のところや、見通しの効かない密集した雑木林の中の歩行にはスマートフォンのGPS機能が威力を発揮する。

(記 西田文雄)



龍王山の南西に上下の町がある。

石見の大森銀山から産出された銀を瀬戸内海ルートで運ぶため、陸路で山陽側まで輸送する「銀山街道」があった。上下町はその街道の宿場町の1つで、山陰・山陽の物資中継地として栄えた。龍王山はこの上下町の中心地から約8km北東にあり、上下川の源流の山でもあるらしい。上下川は日本海に注ぐ江の川水系の川であるが、上下という地名は瀬戸内海に注ぐ芦田川水系と反対の日本海に注ぐ水系の分水嶺に当たるので付けられたとも言われている。

江戸時代、大森銀山は幕府直轄地となり、上下町も幕府直轄領となる。(天領とよく言われるがこの言葉は明治になって使用され始めたものらしい。)上下代官所は大森代官所の出張陣屋となり、幕府の公金を扱う御用商人も集まり、財を成す豪商も出現した。その時代の名残りが見られる建物や街並みが現在も存在する。また、2～3月には昔の豪華なお雛さまも飾られる「上下ひなまつり」が開催される。

参考：島根県立大学総合政策学部井上研究室ゼミ「大学生がつくる銀山街道ガイドブック」、府中市観光協会オフィシャルHP

白壁、なまこ壁の上下の町なみ



府中市最高峰 龍王山山頂で



今までやまぼうしで登った府中市の他の山

岳山 亀ヶ岳